

日本風景街道

木 ・ 花 を 植 え る
事例集



平成 26 年 1 月

目 次

1. 木・花を植える目的やコンセプトの設定	1
2. 計画・目標	2
3. 木・花、資材、場所と維持管理	4
4. 広報の実施	8
5. イベントの実施	11
6. 他団体等との交流・連携	13
7. 活動のための勉強・学習	14
8. 体制づくり・活動資金の確保	15
(参考1) 意見交換会（木・花を植える）概要	19
(参考2) 参加頂いたパートナーシップの紹介	20

※ 日本風景街道の活動の一環として、平成 25 年 9 月 12 日に実施したパートナーシップとの意見交換を踏まえ、「木・花を植える」ために参考となる各地の事例についてとりまとめました。

問い合わせ先：国土交通省道路局環境安全課
道路環境調査室 03-5253-8497（直通）

1. 木・花を植える目的やコンセプトの設定

木や花を植える活動の目的は、各団体において様々ですが、活動の質や意義をより高めるには、活動の目的やコンセプトを明確に定め、活動に関わるパートナーシップのメンバーで共有していくことが重要です。

以下に示す事例では、地域に対する思いや先人の意志の継承、地域の活性化、景観の形成、観光振興などを目的やコンセプトにしています。

【十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート】

○十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルートでは上川から十勝をつなぐ周遊観光活性化を目的にシーニックバイウェイ北海道の4ルート・北海道ガーデン街道協議会・地域が一体となって上川地方か～十勝地方間の幹線道路沿道に北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を植樹する。

- ・ 道路交通環境の向上
- ・ 訪れる人々に地域の「要所」・「景観の優れた（シーニック）箇所」・「並木」・「花壇」・「庭園（ガーデン）」などを案内し、おもてなしを行うこと
- ・ 後世に残る新しい景観を創出することによる、他圏域との交流人口拡大

【ふくしま浜街道ハッピーロード】

○ふくしま浜街道・桜プロジェクトは、震災後、希望をなくしつつある地域住民が元気になり、希望が持てるよう「30年後の故郷への贈り物」を皆で造ろうというプロジェクトで、浜通りの未来を担う子供たちが主体的に関わっていける環境をつくり「愛するふるさとの復興」を成し遂げる礎としての願いが込められている。

- ・ 桜並木の成長とともに故郷と故郷を離れて生活している人々の絆
- ・ 全国と被災地との絆を繋ぎ、桜並木を『復興のシンボル』として全国・世界へ発信
- ・ 記憶と意思を後世に伝え続けていくこと
- ・ 故郷を諦めず復興に向けて一緒に歩みを進めたい
- ・ 被災地が桜の成長と共に復興していく姿を見ることでこの震災を忘れないでもらいたい

【「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～】

○御母衣ダム建設によって、ダム湖岸に沈む運命にあった桜を、1960年12月にダムを建設した電源開発(株)の初代総裁 高碓達之助の発案によって移植された。その後荘川村にちなんで「荘川桜」と命名された。

○「太平洋と日本海を桜でつなごう」という夢を実現しようと、名古屋から金沢までを結ぶ名金急行線の路線沿いに桜を植え続けた旧国鉄バス車掌 佐藤良二さん（1977年47歳で没）の遺志を受け継いで、白川郷から五箇山を桜でつなごうという目的で活動が始まる。

2. 計画・目標

(1) 植えるエリアや植える本数の目標の設定

木や花を植える活動を計画的に実施していくためには、植える木や花の種類を選定して、エリア、本数など目標を設定することが重要です。

以下に示す事例では、いつまでに、どのような範囲でどのような種類の木をどれくらい植えるのか、植える木の種類、本数、エリアを定め、計画的に取り組んでいます。

目標の設定 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

・在来種ヤマナラシの改良種「ヤマナラシ・エレクト」を主要幹線道路沿道に2年間で約200本植樹する目標を立てている。



- ・在来種「ヤマナラシ」の改良種。
- ・綿毛や種の飛散が無い。
- ・樹幅が細く、幹も硬い。街路樹向け改良品種。
- ・最終樹高12m、樹幅3m



- 大雪・富良野ルート
- 十勝平野・山麓ルート
- トカプチ雄大空間
- 南十勝夢街道
- 北海道ガーデン街道
- 100年の木プロジェクト主要幹線

目標の設定 ふくしま浜街道ハッピーロード

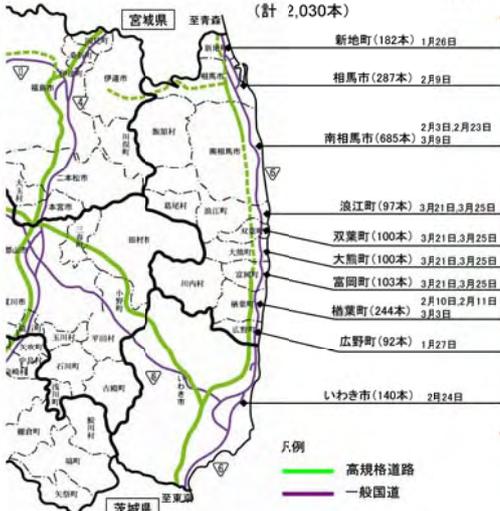
・国道6号のいわき市から新地町まで総延長163kmと沿道の常磐道、県市町村道に、住民や避難者がボランティアとともに10年がかりで2万本のさくらを植えて、桜並木を育てる。

30年後の故郷に贈る

ふくしま浜街道・桜プロジェクト

福島県浜通りを南北に繋ぐ国道6号及び常磐道・県市町村道の桜の植樹





市町村	植樹本数	植樹日 (H25.3.31現在)
新地町	182本	1月26日
相馬市	287本	2月9日
南相馬市	685本	2月3日、2月23日、3月9日
浪江町	97本	3月21日、3月25日
双葉町	100本	3月21日、3月25日
大熊町	100本	3月21日、3月25日
富岡町	103本	3月21日、3月25日
楢葉町	244本	2月10日、2月11日、3月3日
広野町	92本	1月27日
いわき市	140本	2月24日

10年間で2万本の植樹を計画

凡例

- 高規格道路
- 一般国道

(2) 来訪者へのもてなし（木・花を年間を通じて楽しんでもらう）

木や花にはそれぞれに開花時期や見頃時期など季節による特徴があります。来訪者へのおもてなしとして、四季折々の木や花を楽しめるような植樹・植栽の工夫、開花時期以外でも来訪者に楽しんでいただくための工夫などが重要です。

以下に示す事例では、開花時期を考慮して複数種の苗を植栽したり、年間を通じて定期的に開催するイベントに合わせて植栽をして花を楽しんでもらっています。



3. 木・花、資材、場所と維持管理

(1) 木・花、資材の確保

植樹や植栽を行うためには、木や花の苗、園芸資材などが必要です。継続した活動を実施していくためには、木や花の苗、園芸資材等を安定的に調達していくことが重要です。

以下に示す事例では、会員が苗作りから全て手作りで行うなど、継続的な活動を行うための工夫がされています。

苗の生産・育成 いやし・もてなし神山街道

・台木の植え付け、接ぎ木、支柱への誘引、除草、防除等は全て会員による手作り

【苗育成のスケジュール】

<p>1月: 台木植え付け</p> <p>3月: 接ぎ木</p> <p>5月: 活着して新芽</p>	<p>6月: 支柱設置</p> <p>6月～8月: テープで誘引、防除</p> <p>12月: 掘り取り配布</p>
--	--



活着して新芽(5月)



支柱設置(6月)

苗の生産・育成 日南海岸きらめきライン

・植栽活動のエリア拡大に伴う花苗需要の拡大、助成金・補助金等の縮小などを契機として、自立した活動へ転換するため、花の苗を自ら生産し、花で地域を結ぶ一斉活動に供給を開始。

平成18年度から、毎年3月沿道の植栽活動をエリア一斉に実施

花苗需要の拡大

活動の拡大

助成金・補助金の縮小

自立した活動へ転換

平成20年度から花の苗を自ら生産し、花で地域を結ぶ一斉活動に供給



きらめきラインエリア
・宮崎市
・日南市
・串間市

(2) 場所の確保

木や花を植える活動では、道路区域だけでなく、周辺の道路区域外の敷地も利用した活動が展開されています。

以下に示す事例では、行政や関係機関、パートナーシップが連携して、遊休農地や河川敷を活用するなど道路区域外も含めた活動が行われています。

民地敷地の利用

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

・道しるべとなる「サインツリー」は、道路区域だけでなく、周辺の民地敷地にも植樹している。

十勝平野・山麓ルート



鹿追町 カントリーババ (民地敷地内)

トカプチ雄大空間



幕別町 幕別いちご園 (民地敷地内)





音更町 柳月 (民地敷地内)

遊休農地の活用

渥美半島菜の花浪漫街道

・市農業委員会や市営農支援課と連携した遊休農地を活用する仕組みづくり
 ・菜の花エコプロジェクトの推進・農地の管理と遊休農地の活用・住民との交流の促進

こんなときは…

- 農地を貸したい/売りたい → 農地バンクに登録
- 遊休農地の所有者 → 遊休農地活用依頼
- 菜の花を植えてほしい → 農地のあっせん
- 農地を借りたい/買いたい → 農地のあっせんを依頼
- 担い手農家 → 遊休農地の活用促進を依頼
- 地域にある遊休農地を活用したい → 遊休農地の活用促進を依頼
- 校区・地区自治会など → 遊休農地の活用促進を依頼
- 花の咲く美しい地域にしたい → 参加申込み
- 学校・NPO・市長・来訪者など → 参加申込み
- 菜の花エコプロジェクトに参加したい → 参加申込み

ここに相談してみよう!

田原市営農支援課

- 遊休農地の現地調査
- 交差点など来訪者の目につく場所を重点的に交渉する

農地のあっせん

- 遊休農地の農地バンクへの登録を促進
- 担い手農家を中心に農地をあっせん

菜の花エコプロジェクトの支援

- 遊休農地を菜の花畑として活用してよいる、土地所有者に交渉
- 同意が得られない場合
- 担い手を募すなど農民としていく方法を模索

農業委員会

- 遊休農地の調査と把握
- 担い手を募すなど営農していく方法を模索

NPO法人田原菜の花エコネットワーク

- 菜の花畑として活用できるか現地調査
- 菜の花エコプロジェクトの推進
- 菜の花畑として活用、神楽や食用用の利用、食育や環境教育などの促進
- 菜の花まつりとの連携

観光ビューロー

- 菜の花まつりの開催や情報提供などにおいて情報交換、連携、協働

田原菜の花エコ推進協議会、田原市エコネ推進課



菜の花浪漫街道沿いの雑草が繁茂した遊休農地



菜の花浪漫街道沿いの菜の花畑

・河川対岸にある病院の患者を元気づけようと、地域住民をはじめ、国土交通省、新潟県、上越市の行政と連携し、河川敷にコスモスを植樹。



(3) 維持管理

木や花を健全に生育させるためには、日常の維持管理が不可欠です。木や花の維持管理を適切に行うためには、体制を整え、計画的に維持管理作業を行っていくことが重要です。

以下に示す事例では、花植え活動と日々の維持管理（花壇の水巻き・歩道の清掃）活動を分けて、ボランティアを募集し、日々の維持管理の体制を確保するように取り組んでいます。

企業や地域と連携した維持管理活動

江戸・東京・みらい街道

(4) 活動内容

平成14年度より、沿道景観の向上を目的に日本橋から京橋の中央通りで花植え、水やり、清掃活動等を実施

■特徴:「**花奉行**」と「**水奉行**」を取り決め、活動を実施
→沿道サインボードに活動団体が提示される

あなたのフラワー寄金 → 道路の美化・清掃 社会貢献活動 → 管理者表示サインボードに記名

管理者表示サインボードのイメージ

管理者表示サインボードに記名

フラワーボランティア (水奉行) 水やり

フラワーサポーター (花奉行) 寄金

■「花奉行」とは？
フラワー基金(中央通りの花壇に年3～4回花を咲かせる費用)を提供して頂くサポーターのこと。
→花壇に設置する「管理者表示サインボード」に町会・水奉行とともに名称(ロゴマーク)が表示される。

■「水奉行」とは？
花壇の水やり・日々の日常管理をして頂くサポーターのこと。
→花壇に設置する「管理者表示サインボード」に町会・花奉行とともに名称が記載される。

■企業のCSR(企業の社会的責任)・SRI(社会的責任投資)へ 対する機運の高まりと共に地域の方へもより一層、興味・関心を持って頂けるよう取り組んでいる。

4. 広報の実施

(1) 情報発信の取組

多くの方に現地を訪れていただき、美しい木や花を楽しんでもらうためには、様々な機会・媒体を通じて情報発信を行い、地域の魅力や木・花の美しさを知ってもらう必要があります。情報発信を効率的・効果的に行うためには、ねらいとする広報の対象に応じて適切な機会・媒体を選択していくことや、沿道の休憩施設などと連携して取り組んでいくことなどが重要です。

以下に示す事例では、沿道の休憩施設での情報発信などに取り組んでいます。

道の駅での情報発信

日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」

・沿道の道の駅「マリンドーム能生」に設置されているスクロール画像に、四季折々の風景画像を掲載



道の駅「マリンドーム能生」



スクロール画面

道の駅「マリンドーム能生」施設内

画面スクロール画像(例)



日本風景街道

～枝垂れ桜の咲く里～徳合



日本風景街道

～枝垂れ桜の咲く里～筒石

さくら峠茶屋の設置

いやし・もてなし神山街道

・さくら峠茶屋を設け、「さくら見所マップ」などで神山さくら街道の説明、観光案内を実施





(2) マスコミの反響

多くの人々に活動を知ってもらうためには、自ら情報発信するだけでなく、マスコミなどに対して積極的に情報公開するなどして、新聞や雑誌、TV、インターネットのニュースサイトなどで掲載・放送してもらえるように働きかける方法（パブリシティ）もあります。

以下に示す事例は、活動やイベントがマスコミに取り上げられ、新聞やテレビなどで紹介されたものです。

新聞社の取材		ふくしま浜街道ハッピーロード	
・ボランティア植樹の実施にあたり、地元紙を含む多くの新聞社が取材し記事を掲載			
実施日	主な掲載記事		
新地地区	H25.1.26	河北新聞	2013.1.27
		朝日新聞	2013.1.27
		毎日新聞	2013.1.27
		読売新聞	2013.1.27
		福島民報	2013.1.27
		福島民友	2013.1.27
楢葉地区	H25.2.10,11	いわき民報	2013.2.12
		いわき民報	2013.2.16
祈念植樹	H25.3.3	いわき民報	2013.3.5
		福島民報	2013.3.4
		福島民報	2013.3.5
		福島民友	2013.3.5
警戒区域内植樹	H25.3.21,25	福島民報	2013.3.22
		福島民友	2013.3.22

テレビ局の取材		日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」	
・NHK新潟放送局が「地域をつなぐ桜」と題して、活動を紹介			
<p>日時：平成25年5月1日（水） 18:17～18:24 放送局：NHK新潟放送局 番組名：「新潟ニュース610」 題名：地域をつなぐ桜</p>			
<p>取材趣旨（活動内容について）</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜を見るにはどうしても徳合に行かないとみれない。つまり、移動することが出来ない商品を開発していくことが、我々が一番最初に考えたことです。 50年後、100年後たったときに、必ずこの桜たちがきれいに花を咲かせたり、人を呼んでくれたりして、この地域を救ってくれると信じています。 		<p>(取材状況)</p> 	
<p>マスコミに活動内容を取材して頂くことで、当地域の活動について、広く周知される機会となりました。</p>			
<p>H25年度のイベントPRポスター</p>			

5. イベントの実施

沿道の木や花を楽しんでもらう方法の一つとして、木や花をテーマに絡めたイベントの開催も有効です。イベント開催にあたっては、来訪者の満足度やイベントそのものの認知度を高めていく工夫が必要です。

以下に示す事例では、地域の資源や特徴を活かした花壇の設置や、木を題材とした俳句大会、写真展などの開催し、木や花を楽しんでもらうためのイベントを行っています。

写真の展示会

日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」

- ・公民館で枝垂れ桜や里山風景の写真(計30点)の展示会を開催
- ・来訪者からのアンケートで評価の高かった5点については後日に表彰

-たちどまる風景写真コンテスト表彰式 受賞作品-



【特選】

【佳作】



【次選】

【高田河川国道事務所長賞】



【佳作】



【佳作】



【佳作】

さくら俳句碑の設置

いやし・もてなし神山街道

- ・町内で開催する俳句大会で、愛好家に「さくら」を詠んで頂き、選ばれた句を句碑に残して来訪者の「いやし」の場所となっている
- ・「さくら俳句碑」101本、16ヶ所に設置した





出典：NPO法人神山さくら会HPより



一斉活動の実施

日南海岸きらめきライン

- 平成18年度から、毎年3月に沿道の植栽活動をエリア一斉に行う、「花で地域を結ぶ一斉活動」を実施



「花で地域を結ぶ一斉活動」

花の苗の生産を講習会形式で学び、参加していただいた団体、個人の方々が、来春に優先的に無料で花苗の供給を受けることが出来るシステムです。

宮崎市折生迫の宮崎県堀切苗圃で12月～3月までの間で計7回の講習会を開催しました。

フラワーフェスティバルの開催

やんばる風景花街道

- パートナーシップで連携し、イベントを開催
- 大きな花カメ立体花壇などの、地域の特色ある花壇

「フラワーフェスティバル2013」 (情報発信内容)

- ブログによるイベント情報発信
- ポスター掲示(道の駅等の情報提供施設)
- 市広報誌
- 各市町村への訪問
- 新聞社への訪問
- 新聞広告
- ラジオ
- のぼり旗

3月9日(土)、10日(日)10:00～16:00は
ウミガメ出張教室(わんさか大ホールにて開催)

大勢の花カメ立体花壇と、動物のつとめ館に集って花見(花)



ブログ(イベント情報発信)



ポスター



のぼり旗(協賛金あり)



新聞広告



新聞社訪問(記事が掲載されました) 2013.3.1 琉球新報 朝刊(28面)

6. 他団体等との交流・連携

他地域の風景街道パートナーシップなどと交流・連携し、共同で活動したり、勉強会や意見交換などを行うことは、活動内容の充実、活動メンバーの意欲の向上などの点でとても有意義です。

以下に示す事例では、地域の魅力を発信する広域マップ、花苗等の寄贈、勉強会、シンポジウム、意見交換会などにより、風景街道間の広域連携に取り組んでいます。

大雪ぐるっと広域連携

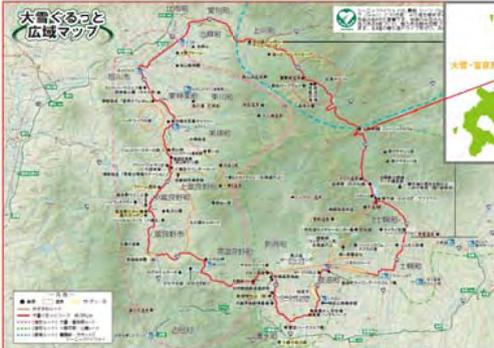
十勝シーニックバイウエイ 十勝平野・山麓ルート

・「100年の木プロジェクト」をきっかけに、魅力的な地域資源や観光を提案できるように、大雪山周辺地域が連携した「大雪ぐるっと広域連携」取り組みを実施

具体的取組み

- **マップの作成**
地域の魅力を発信する大雪山周辺地域広域マップの作成
- **食フェアの開催**
ホテルオークラ札幌でグルメフェア『大雪ぐるっとグルメフェア(H25.7)』

連携地域：
大雪・富良野ルート(上富良野町・美瑛町 等)
十勝平野・山麓ルート(鹿追町・上士幌町 等)
上川町(候補ルート、層雲峡・オホーツクSBW)






他の地域との苗の交流

江戸・東京・みらい街道

・日本橋に注目する地方自治体向けに「はな街道」をアピールし、地元の花を中央通りに植えてPRに活用(昨年度は愛知県田原市、富山県南砺市から花苗等が寄贈)










地下鉄銀座線 三越前駅地下コンコース

7. 活動のための勉強・学習

木や花を植える活動にあたっては、パートナーシップが様々な分野のノウハウや専門的な技術・知識を習得できる機会が必要となります。

以下に示す事例では、定期的なテーマ別の勉強会を開催し、パートナーシップが活動のノウハウや知識を習得できるように取り組んでいます。

風景街道大学
日南海岸きらめきライン

・「景観と風景」や「国際交流観光」といったテーマを設定した勉強会「風景街道大学」を開催

【開催状況】

- 第1回開講 平成22年10月29・30日
テーマ/ 日本風景街道の理念と目指すところ
- 第2回開講 平成24年 1月21・22日
テーマ/ 地域資源（神話と風景）をみかきつなく
- 第3回開講 平成25年 1月12・13日
テーマ/ 景観と風景（沿道修景の見直し）、国際交流観光



【1】 平成25年1月12日（日）～13日（月）

【2】 風景街道大学（本居町センター） 定例勉強会 第1回開講
（風景街道基本理念「了る」をテーマ）

【3】 開講 第2回
【4】 開講 第3回

【5】 開講 第4回

【6】 開講 第5回

【7】 開講 第6回

【8】 開講 第7回

【9】 開講 第8回

【10】 開講 第9回

【11】 開講 第10回

【12】 開講 第11回

【13】 開講 第12回

【14】 開講 第13回

【15】 開講 第14回

【16】 開講 第15回

【17】 開講 第16回

【18】 開講 第17回

【19】 開講 第18回

【20】 開講 第19回

【21】 開講 第20回

【22】 開講 第21回

【23】 開講 第22回

【24】 開講 第23回

【25】 開講 第24回

【26】 開講 第25回

【27】 開講 第26回

【28】 開講 第27回

【29】 開講 第28回

【30】 開講 第29回

【31】 開講 第30回

【32】 開講 第31回

【33】 開講 第32回

【34】 開講 第33回

【35】 開講 第34回

【36】 開講 第35回

【37】 開講 第36回

【38】 開講 第37回

【39】 開講 第38回

【40】 開講 第39回

【41】 開講 第40回

【42】 開講 第41回

【43】 開講 第42回

【44】 開講 第43回

【45】 開講 第44回

【46】 開講 第45回

【47】 開講 第46回

【48】 開講 第47回

【49】 開講 第48回

【50】 開講 第49回

【51】 開講 第50回

【52】 開講 第51回

【53】 開講 第52回

【54】 開講 第53回

【55】 開講 第54回

【56】 開講 第55回

【57】 開講 第56回

【58】 開講 第57回

【59】 開講 第58回

【60】 開講 第59回

【61】 開講 第60回

【62】 開講 第61回

【63】 開講 第62回

【64】 開講 第63回

【65】 開講 第64回

【66】 開講 第65回

【67】 開講 第66回

【68】 開講 第67回

【69】 開講 第68回

【70】 開講 第69回

【71】 開講 第70回

【72】 開講 第71回

【73】 開講 第72回

【74】 開講 第73回

【75】 開講 第74回

【76】 開講 第75回

【77】 開講 第76回

【78】 開講 第77回

【79】 開講 第78回

【80】 開講 第79回

【81】 開講 第80回

【82】 開講 第81回

【83】 開講 第82回

【84】 開講 第83回

【85】 開講 第84回

【86】 開講 第85回

【87】 開講 第86回

【88】 開講 第87回

【89】 開講 第88回

【90】 開講 第89回

【91】 開講 第90回

【92】 開講 第91回

【93】 開講 第92回

【94】 開講 第93回

【95】 開講 第94回

【96】 開講 第95回

【97】 開講 第96回

【98】 開講 第97回

【99】 開講 第98回

【100】 開講 第99回

【101】 開講 第100回




意見交換会や勉強会の開催
「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～

・植樹とともに意見交換会や勉強会を開催することにより、ノウハウや知識を深め活動を活発にするとともに、来訪者を増やすための工夫を行っている。

- ・庄川桜の植樹の実施とあわせて風景街道意見交換会を開催
- ・風景街道戦略委員や有識者を招いて勉強会や講演会を開催



風景街道意見交換会の開催



合掌・さくら 飛越街道
沿線活性化へ意見交換

2012.5.19 岐阜新聞 朝刊 (21面)



風景街道勉強会 ～風景街道を活用した着地型観光地を目指して～

8. 体制づくり・活動資金の確保

木や花を植える活動を継続的に取り組むためには、地域の企業や団体、市民等と協力・連携した体制づくりや、木や花の苗、園芸資材等の調達、維持管理のための必要な資金を安定的に確保するための仕組みづくりが重要です。

以下に示す事例では、活動の趣旨に賛同する地元企業との連携、地域住民との連携、若者の呼び込み、行政との役割分担などによる活動の体制づくりや、オーナー制・サポーター募集による基金、商品の販売による活動資金の確保に取り組んでいます。

北海道コカ・コーラボトリングとの協力 十勝シーニックハイウェイ 十勝平野・山麓ルート

・北海道コカ・コーラボトリング(株)が北海道限定デザイン缶(十勝平野・大雪山)の発売を契機に100年の木プロジェクトへの協力としてノボリ制作、新聞広告掲載、共催での植樹祭を実施。

- ・十勝平野と大雪山の北海道限定デザイン缶を新発売
- ・100年の木プロジェクトのノボリ制作と新聞広告への掲載
- ・地域連携によるコーヒー缶サンプリング配布の実施

コカ・コーラと地域によるサンプリング (H24.11.22~23)

新聞広告(十勝毎日新聞X H24.11.26)



つながる大雪山・十勝
100年の木プロジェクト
サントスプレミアムは
本プロジェクトを応援しています

人と未来をつなぐ
100年の木プロジェクト
＜シーニックハイウェイ&カーデザイン街道＞
北海道コカ・コーラボトリング
株式会社
Coca-Cola

『中央通り「はな街道」フラワー・サポート・プログラム』協定書 江戸・東京・みらい街道

・行政との役割分担を協定書としてとりまとめ。

【実施団体・実施者の活動】

- (1) 花植え計画・管理計画・フラワーサポーター募集 **計画の立案**。
- (2) 沿道フラワーボランティアは **花壇の水撒き・歩道の清掃**を行う。
- (3) フラワーサポーターは花壇に **花を植える費用を寄付**する。
- (4) 沿道町会はイベント実施協力・フラワーサポーター募集協力をを行う。

※「実施団体」: NPO法人「はな街道」 (旧)実行委員会
「実施者」: 実施団体とともに本プログラムに参加する者
「フラワーサポーター」: 花奉行
「フラワーボランティア」: 水奉行

【国道事務所の支援】

- (1) 実施団体に対し、**清掃用具の支給(貸与)**
- (2) プログラムの愛称名、実施者・実施団体・道路管理者を表示する **サインボードの設置(花壇内)**。
- (3) 実施団体及び実施者が行う **維持管理の支援**。
- (4) 実施団体が行うフラワーサポーター **募集の支援**。

- ・若者を呼び込み、地域等とつなぐための、「人づくり・チームづくり・しくみづくり」の実施やインターンシップの学生の受け入れ

景観、歴史、祭り 全て魅力



琉大生が「嘉陽マップ」
区民協力ツアーも

琉球大学学生が、嘉陽地区の景観、歴史、祭りをテーマにした「嘉陽マップ」を作成し、区民協力ツアーを実施した。学生たちは、地元住民と協力して、地域の魅力を発信し、観光客の呼び込みを図っている。



大学生による散策マップ作成・ツアーの実施
2013.3.20 琉球新報 朝刊 (30面)

インターンシップ学生によるイベント開催支援

オーナー募金制度

- ・一口1万円で、植樹費用、植樹以降の維持管理費(除草・施肥・防除等)に活用
- ・オーナーはメッセージプレートを桜の木に掲げることができる
(2013年3月4日時点で約500口の申し込み)

ふくしま浜街道・桜プロジェクト

オーナー基金募集

全国から桜の木オーナーを募集し、基金化を図ります。

30年後の故郷に贈る

桜プロジェクト基金

一口1万円、植樹費用、植樹以降の維持管理費(除草・施肥・防除等)に活用

オーナーはメッセージプレートが桜の木に掲げられる

2013年3月4日時点で約500口の申し込み

お問い合わせ先
桜プロジェクト事務局
〒979-0407 福島県双葉郡広野町広野8丁目1-5
桜プロジェクト IQ

ふくしま浜街道・桜プロジェクト

オーナー基金 会員証
Sakura-RelationShip

30年後の故郷に贈る

番号 01-00001

オーナー基金 会員証

<会員証>

- このカードは、ふくしま浜街道・桜プロジェクトオーナー基金[Sakura-RelationShip]の会員であることを証明するものです。
- このカード記載の番号がメッセージプレートに掲げられたオーナー桜の場所です。下記HPをご参照ください。
- このカード所有者は、「オーナー基金規約」に定められた事項を厳守します。
- このカードを取得された方は、お手数ですが下記HPよりご連絡ください。

署名欄:

ふくしま浜街道・桜プロジェクトオーナー基金
【Sakura-RelationShip】
ふくしま浜街道・桜プロジェクト事務局
〒979-0407 福島県双葉郡広野町広野8丁目1-5
桜プロジェクト IQ



・「菜の花エコプロジェクト」の一環として、観賞用菜の花に加えて、搾油用菜の花の作付けも行い、菜種を搾って、田原産菜種油「たはらっこ」を、2006年12月より販売している。

「菜の花エコプロジェクト」

『たはらエコ・ガーデンシティ構想』のもとに推進しているプロジェクトのひとつ。
 菜の花栽培によって遊休農地を解消し、菜種から食用油を生産するとともに、廃食用油は軽油代替燃料にリサイクルする一連のプロジェクトです。
 菜の花をキーワードに遊休農地とバイオマス資源の活用を図るこのプロジェクトは、持続する地域社会を形成します。



意見交換会（木・花を植える）概要

開催日時：平成25年9月12日（木）14:30～18:10

開催趣旨：『木・花を植える』をテーマに、植栽や花植えを通じた沿道の美化活動や、地域間の交流・連携、活動体制の確保など共通課題や対応方針等について議論するため、こうした活動に取り組まれているパートナーシップに参加いただき、課題の解決方法や工夫などについての意見交換を実施

参加頂いたパートナーシップ：

ルート名	所属団体名
十勝平野・山麓ルート	<ul style="list-style-type: none"> ● 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート ● シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート
ふくしま浜街道ハッピーロード	<ul style="list-style-type: none"> ● NPOハッピーロードネット
江戸・東京・みらい街道	<ul style="list-style-type: none"> ● 名橋「日本橋」保存会
日本の原風景 「枝垂れ桜の咲く里への回り道」	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO法人徳合ふるさとの会
渥美半島菜の花浪漫街道	<ul style="list-style-type: none"> ● 田原市 市民環境部 エコエネ推進課 ● 特定非営利活動法人 田原菜の花エコネットワーク
「合掌・さくら」飛越街道 ～世界遺産をめぐる道～	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界遺産合掌街道実行委員会
いやし・もてなし神山街道	<ul style="list-style-type: none"> ● いやし・もてなし神山街道 ● いやし・もてなし神山街道 NPO神山さくら会
日南海岸きらめきライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会
やんばる風景花街道	<ul style="list-style-type: none"> ● 二見以北地域振興会 ● 名護市役所 久志支所

参加頂いたパートナーシップの紹介：

【ルート概要】 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

<h3>■地域のねらい</h3> <p>テーマ：スケールは日本一 「広さ」「環境」「ツーリズム」「農」</p> <p>・広大な十勝平野の西北部、東大雪と日高山脈の山裾を巡る私たちのルートでは、希少な動植物が息づく原生林、訪れる人の心を癒す森と湖、エコツアーやグリーンツーリズムなどのあらゆる体験施設、そして地域産業である「農」の素材を活かしたファームレストランなどが数多く点在し、食と農とアウトドアを満喫することができます。</p>	<h3>■地域資源、活動内容</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 広大な十勝平野 ● 深い森と点在する湖 ● グリーンツーリズムとアウトドア ● 不用看板の再生 ● シーニックカフェサインの作成
<h3>■活動エリアと地域資源</h3> <p>～活動エリア～ ・北海道十勝地方の西北部に位置する 新得・清水・鹿追・士幌・上士幌・足寄・陸別の7町を巡るもので、国道38号、241号、273号、274号、および周辺の道道、町道をエリアとする日高山脈と東大雪の山裾を巡るルートです。</p> <p>～地域資源～ ・広大な十勝平野には、山の奥深さを感じさせてくれる深い森が広がり、そうした山々に抱かれるようにいくつもの湖と温泉が点在しています。そして、街では道を彩る花々が咲き誇り、ジャガイモの花やソバの花、青々とした牧草地、黄金色の麦畑、冬には白銀の世界と季節ごとの美しい農村風景も魅力です。また、多様なグリーンツーリズムと数々のアウトドア体験メニューが揃っていると同時に日本の食糧基地として、ソバ、小麦、ジャガイモ、乳製品など豊富な食を有し、それらを活用するファームレストランもあります。</p>	 <p>● ナイタイ高原牧場 (上士幌町)</p> <p>● 原生自然環境保全地域 (新得町)</p> <p>● 然別湖 (鹿追町)</p> <p>● オンネトー (足寄町)</p> <p>● 日高山脈と農村景観 (清水町)</p> <p>● 谷道美化活動</p> <p>● シーニックカフェ</p> <p>● シーニックカフェサインの作成</p> <p>● 十勝平野・山麓ルート代表者会議 (活動団体45団体)</p> <p>● ルート運営行政連絡会議 (国土交通省、北海道、関係町他)</p>
<h3>■地域の活動推進体制</h3>	

【木・花を植える目標】

○ 「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」の取組として上川から十勝をつなぐ周遊観光活性化を目的に、シーニックバイウェイ北海道の4ルート・北海道ガーデン街道協議会・地域が一体となって上川～十勝地方間のエリアに道しるべとなる「サイツリー」を植樹

○ 道路交通環境の向上を図り、訪れる人々に地域の景観の優れた箇所、庭園などを案内、おもてなしを行うことを目的とし、後世に残る新しい景観を創出することで、他圏域との交流人口拡大を期待



約220km

2年間で約200本を植樹

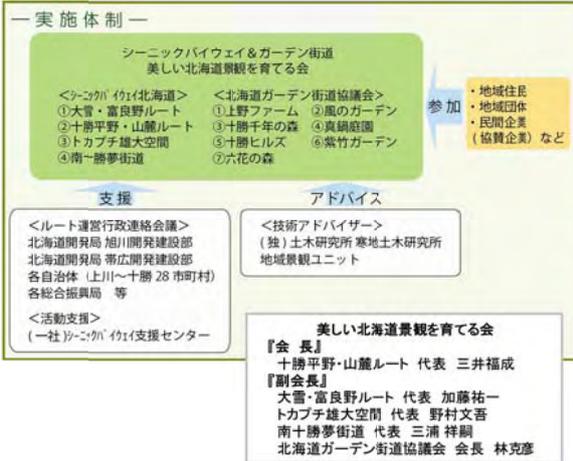


サイツリー
「ヤマナラシ“エレクタ”」



【木・花を植える活動状況】

- プロジェクトを推進するために「シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会」を結成
- 北海道コカ・コーラボトリング（株）との連携によるPRの実施
- 当会メンバーによる植樹及び植樹祭の実施



【企業との連携によるコーヒー缶サブリング配布】



【企業との連携による植樹祭の実施】



【企業の協力によるノボリの制作】

【木・花の写真】

- 上川と十勝をつなぐ峠への植樹（企業連携）



- 風景を楽しむシーニックデッキ設置箇所への植樹



- 花壇との調和を目指した箇所への植樹



シーニックバイウェイ 美しい北海道景観を育てる会
事務局：旭川市 旭川開発建設部 旭川開発建設部

【ルート概要】 ふくしま浜街道ハッピーロード

■ルート概要

ふくしま浜街道ハッピーロードは、福島県浜通地方の国道6号や常磐自動車道を含む総延長約230kmのルートです。

このエリアは、東には太平洋を望み、南北60kmにおよぶ海岸線を有し、多様で美しい自然や温暖な気候、海・山・川の豊かな自然に恵まれており、「相馬野馬追祭」に代表される歴史・伝統文化や「陸前浜街道の松並木」などの地域資源もあります。また、未来のまち・地域づくりや景観づくりの推進活動等に関する事業を行い、美しい風景の中で楽しく住みやすい地域社会の実現などに向けて様々な活動を行っています。

■地域資源、活動内容



●常磐道をつつむ田園風景



●浜街道の渚



■地域の活動推進体制

①常磐道を応援する女性の会②特定非営利法人ハッピーロードネット
「ルート関係行政(国土交通省、NEXCO、福島県)」

●沿道美化活動



●地域資源調査



●浜街道松並木



●浜立海岸(いわき市)



【木・花を植える目標】

- 震災、原発事故のシンボルとして、末永く維持管理して後生に語り継ぐ取り組みとして、「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」を立ち上げ、国道6号及び常磐自動車道及び県市町村道沿線に桜の苗木を植樹
- 維持管理は、全国からボランティア、オーナーを募集し、全国と被災地域の交流により、地域活性化に寄与、合わせて、未来を担う地域の子供たちが主体的に関わる環境を整備。



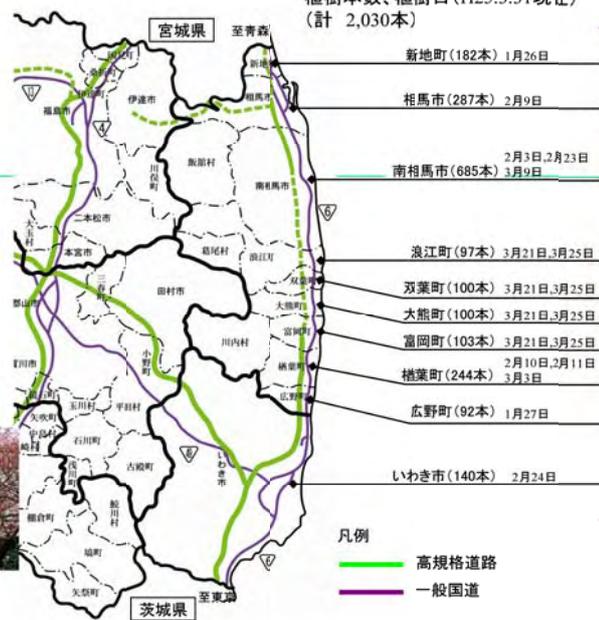
ソメイヨシノ



サトザクラ



植樹本数、植樹日(H25.3.31現在)
(計 2,030本)



10年間で2万本の植樹を計画

凡例

— 高規格道路
— 一般国道

【木・花を植える活動状況】

- 全国から植樹のボランティアや、維持管理のオーナーを募集し、現地に足を運んでもらうよう工夫
- オーナーの証として、メッセージプレート桜の木に掲げ、将来含め再来の機会を作る工夫を実施



－ 実施体制 －

ふくしま浜街道・桜プロジェクト

○特定非営利法人ハッピーロードネット



国土交通省
東北地方整備局
磐城国道事務所

ネクス東日本
東北支社
いわき工事事務所
福島県
浜通り13市町村



- ・地域住民
- ・地域団体
- ・ボランティア
- ・桜オーナー



▲オーナー基金募集



▲メッセージプレート



▲南相馬市原町地区での植樹状況(3月9日)



▲富岡町での植樹状況(3月21日)

【木・花の写真】



H25.3.3 祈念植樹箇所



H25.9.20現在生育状況



国道6号 久保前交差点(双葉町)植栽状況

【ルート概要】 江戸・東京・みらい街道

■地域のねらい(目的)

- ・日本国道路元標を有し、日本橋地域の軸である中央通りにおいて、街並みに残る江戸から東京にわたって蓄積された歴史と伝統を継承しながら、新しい開発計画などと連携し、将来に向けて風格ある風景作りに取り組む。

■活動エリアと地域資源

◆活動エリア(範囲)

中央通りを中心とした日本橋、京橋地区の南北軸が中心であるが、将来的には、東の人形町、浜町、馬喰町との連携や、北に位置する秋葉原地区の持つ先進性とも連携を図っていく。

◆地域資源

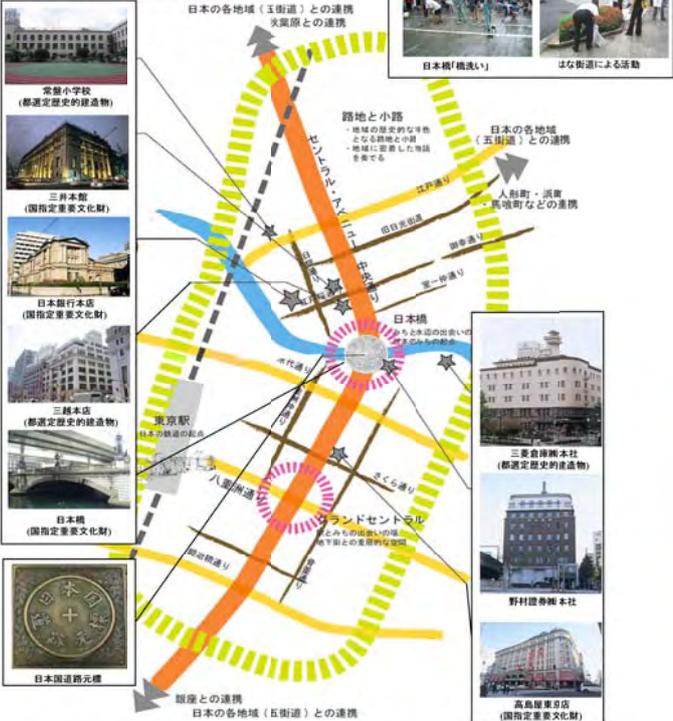
- ・景観資源：五街道の起点である道路元標、日本銀行本店等の歴史的建造物群
- ・自然資源：都市部における貴重な水辺空間である日本橋川

■地域の活動推進体制

○江戸・東京・みらい街道

- ・名橋「日本橋」保存会
- ・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- ・NPO法人はな街道
- ・日本橋地域連合町会 他

■地域資源の概要



【木・花を植える目標】

- “国際都市東京のメインストリート”にふさわしい「景観の保全」と「新たな賑わいの創出」を目指し、「日本橋」を拠点とする中央通りの花壇が季節の花々で彩られるよう、花の植え替えや清掃活動を平成14年度から実施。
- 地元企業・団体が花植え資金を提供する『花奉行』や、沿道者などが水遣り・清掃を行う『水奉行』など、役割分担を明確にすることで持続可能な取り組みを目指している。

○はな街道の範囲



○植替えプランは実績や以下の点に留意して策定

- 中央通りでの育成実績のよい花（**管理上強い**）
- ある程度の高さが出る花（**見栄えが良い、飛び越しづらい**）
- 統一感のある街並み**を演出するために単一の花（すっきりする）
- 花の見頃期間が長く**コス、削減**が可能

夏の花 <ナルビア>



秋の花 <フレンチマリーゴールド>



冬の花 <パンジー>



小学生が植えた<チューリップ>



【木・花を植える活動状況】

- 花壇ごとに「花奉行」、「水奉行」を取り決め、活動団体を **沿道サインボードに提示。**
(企業のCSR(企業の社会的責任)・SRI(社会的責任投資)へ 対する機運の高まり)
- また、地方自治体や他の街道(PS)向けに「はな街道」をアピールし、**地元の花を中央通りに植えてPR**に活用していただく展開を平成24年度から実施。

○沿道サインボードの例



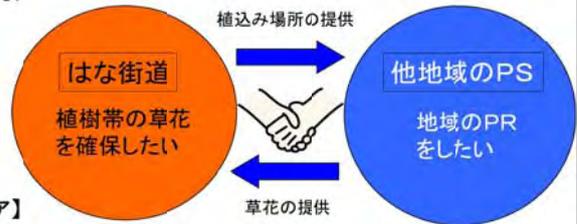
○日本風景街道からの情報発信(他の街道との連携)

<スキーム>

- ・はな街道はPR力の強い沿道緑地空間を提供
- ・他地域の風景街道PSは花植に必要な草花を提供

<これまでの実績>

- 平成24年度 富山県南砺市【チューリップ】
愛知県田原市【菜の花】
- 平成25年度 『浅間・白根・志賀さわやか街道』(群馬県)【サルビア】
『東京・迎賓地区』【淡路瓦を用いた花壇】



【木・花の写真】

○中央通りを彩るマリーゴールド(秋)



○夏~秋を代表する草花サルビア



○冬から春にかけて花を咲かせるパンジー



【ルート概要】 日本の原風景 「枝垂れ桜の咲く里への回り道」

活動エリア

国道8号及び県道・市道を対象道路とし、上越市と糸魚川市の2市にまたがるルートです。

<中心となる道路> (県道) 仙納・徳合線
(市道) 仙納・筒石線

位置図と主な地域資源

戦国時代の山城跡が残り、春には枝垂れ桜の開花に合わせて、「枝垂れ桜の咲く里への回り道」イベントを開催し、茅葺きの古民家や棚田など日本の原風景が訪れる人の心を和ませてくれます。



①道の駅「能生」と「うみてらす名立」



②筒石駅(ホームが地下)



③枝垂れ桜



④棚田の風景



⑤ 徳合城跡



【木・花を植える目標】

- 今から20年ほど前、地域の仲間で地域の将来を考え、「もっと明るく住みたくなる」「住民が誇りを持つ地域に」と考え、道路のゴミ拾いや草刈り、樹木伐採が活動の原点。
- 地域の環境改善活動から、地域に何が残るかを考え、植樹による枝垂れ桜の咲く美しい景観を持つ地域することとした。
- 先人が地域のために汗を流してきたものを、今度は次の100年に向けて地域の景観づくりをしていきたい想いから、「100年をかけて、徳合でしか提供できない商品をつくる」ことを目的に活動する。

<先人から受け継がれている言葉>

- ・「飾る」より「磨く」こと
- ・「魅力」は、自分たちが創ること
- ・「想い」は、形になる



枝垂れ桜

【木・花を植える活動状況】

- 活動ルート内の景観形成及び道路環境の改善を目的に、地元住民との話し合いのもと、共同して障害樹木を伐採し、枝垂れ桜の苗木を植樹している。（累計300本程度）
- 植樹している桜の種類は、多種にわたり、訪れる人を魅了する美しい風景の演出するための配慮に心がけており、枝の剪定時には、枝の切り口に薬剤を塗布するなど維持管理にも入念な作業を行っている。
- 枝垂れ桜の調達については、地域から出るアルミ缶や鉄屑を回収・売却や伐採した樹木の一部を森林組合との協力のもと、間伐材や薪などで出荷した売り上げで、枝垂れ桜の苗木の購入に充てている。
- 昨年から、枝垂れ桜の種子から苗木生育に挑戦している。



障害樹木伐採後の枝垂れ桜の植樹



「アルミ缶」回収ボックス



桜の種子から生育した苗木

【木・花の写真】

○日本の原風景枝垂れ桜の咲く里の風景



「枝垂れ桜」と「かやぶき古民家」

○イベントに合わせてポスター作成



田植え間近の棚田



満開の枝垂れ桜



様々な種類の桜を選定して植樹

【ルート概要】 渥美半島菜の花浪漫街道

基本理念		愛知県田原市・活動エリア	
<h3>花が彩る潮騒のエコ ガーデン ロード</h3> <p>—環境共生の道づくり・郷づくり・人づくり—</p> <p>菜の花浪漫街道の取り組みは、環境共生に取り組む風景街道のトップランナーとして道づくり・郷づくり・人づくりを実践し、地域資源を活かしたエコガーデンロードの実現を意味しており、この風景街道を起点に地域活性化、観光振興、地域間交流、循環型社会の実現などを推進することを目指す。</p>		<p>愛知県の南東部、北は風光明媚な三河湾、南は勇壮な太平洋に囲まれた渥美半島に位置する田原市は、人口約64,000人の産業都市である。</p> <p>島崎藤村の叙情詩「椰子の実」のモチーフにもなった伊良湖岬などの観光資源や三河湾を一望できる蔵王山など美しく恵まれた自然。国内有数のスケールを誇る臨海工業地帯。さかんな農畜産・水産美など色彩豊かな特色を持つ。</p> <p>渥美半島菜の花浪漫街道の対象範囲は国道42号、国道259号を主軸とする田原市全域である。</p>	
<h3>分野別テーマ</h3>			
道づくり	走りやすい道、自然豊かで美しい景観の道、安心安全な生活の道、環境と産業が共生する道、人や地域資源が繋ぐ道をつくろう	伊良湖岬灯台	表浜・太平洋ロングビーチ
郷づくり	自然と歴史・文化を育む郷、暮らしやすい郷、活気あふれる郷、実りと営み豊かな郷、環境共生のエコの郷をつくろう	菜の花まつり	蔵王山
人づくり	主体的・積極的に取り組める人、連携・協働できる人、あたたかい交流とおもてなしの心を持つ人をつくろう		
<h3>施策の方向性</h3>			
まもる	自然環境、農村景観、生活環境を維持し保全する		
なおす	沿道からの景観を妨げるものを排除し改善する		
いかす	埋もれた資源と活動する人を活用し高める		
つくる	魅力を伝え、交流を育む資源を新たに創出する		

【木・花を植える目標】

- パートナーシップに参加する各主体(市民・事業者・行政など)が連携・協働して市の花である菜の花をはじめとした四季折々の花の作付けに取り組む。
- 田原市全域を対象として、菜の花エコプロジェクトの推進、沿道花壇の整備、民有地の花植えの推進などに取り組む。



	菜の花エコプロジェクトの推進	沿道花壇の整備	民有地の花植えの推進
市民	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地に菜の花などを植える 菜種油利用と廃食用油回収に協力する 	<ul style="list-style-type: none"> 花壇を整備・登録し、花植えなどを行う 花壇が設置できない場所へはプランターやハンギングバスケットなどを活用する 花植えなどの作業に参加・協力する 情報を共有し、連携・協働して管理する 建物壁面や壁に花を植える 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の庭、壁面などに花を植える オープンガーデンにより憩いの場とする
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地に菜の花などを植える 菜種油利用と廃食用油回収に協力する BDF利用を推進する 菜の花エコに関する事業を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> 花壇の設置や花植えなどを支援する 公共施設の敷地内に花を植える 市民などが相談できる体制を整え、統一感やテーマ性に配慮した沿道整備を誘導する 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内や壁面などに花を植える ガーデニングコンテストなどの花植えを促進する取り組みを行う
行政など	<ul style="list-style-type: none"> 課題を整理し、推進する 搾油や廃食用油利用、副産物の活用などを促進する 支援や情報共有を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 花壇の設置や花植えなどを支援する 公共施設の敷地内に花を植える 市民などが相談できる体制を整え、統一感やテーマ性に配慮した沿道整備を誘導する 	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発を行う 支援制度の充実と周知を図る

【木・花を植える活動状況】

- 将来像を共有するための長期的ビジョンである**基本構想**とその実行のための短期的な行動計画である**アクションプラン**をそれぞれ策定し、アクションプランの推進を図っている。
- アクションプランの推進にあたっては、市民・事業者・行政等から構成されるパートナーシップ会議がプロジェクトの推進母体として実行支援を行い、**各主体が積極的に**取り組んでいる。
- 近年では、東京日本橋への菜の花作付けなど、**地域を越えた連携、人や文化の交流**を行っている。



【木・花の写真】

○菜の花エコプロジェクトにより沿道の遊休農地に作付けされた菜の花



○道の駅周辺の沿道に作付けされたコスモス



○企業のサステナブル活動により臨海工業地帯の沿道に作付けされた菜の花



【ルート概要】 「合掌・さくら」 飛越街道～世界遺産をめぐる道～

■地域のねらい

心のふる郷を探す街道

日本人の心のみなもとが息づく街道
世界遺産である「白川郷・五箇山合掌造り集落」を中心に自然・歴史・文化・風景などを通して、訪れる人との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間の形成を図る事を目的とします。

■活動エリアと地域資源

～活動エリア～

岐阜県高山市荘川町 ～ 富山県南砺市
(荘川町・白川村・南砺市)

～地域資源～

合掌造り集落は1995年に世界遺産に登録されました。古来より受け継がれてきた独自の建築様式と共に、日本の生活の原風景が残されています。
荘川桜は、御母衣ダムの建設により湖底に沈む運命にありましたが、桜を愛する人々の手により、世界史上例をみない大移植事業を経て現在の地に移されました。命を救われた桜は、そんな人々の心にこたえるかのように、今も湖畔から水没したふるさとを見守りながら美しい花を咲かせています。春の季節は、荘川桜やその子桜や孫桜、白川村のおおた桜なども周辺にて楽しむ事が出来ます。

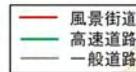
■地域の活動推進体制

「合掌・さくら」飛越街道協議会(活動団体:5団体)

道路管理者

(国土交通省、中日本高速(株)、岐阜県、富山県、関係市町村他)

■地域資源、活動内容



● 豊富な地域資源



五箇山菅沼合掌造り集落



白川郷荻町合掌造り集落



荘川桜(樹齢約450年)

● 世界遺産、周辺景観の保全



清掃活動(国道155号沿線)

● 学習活動



勉強会やシンポジウムの開催



【木・花を植える目標】

- 「荘川桜」は岐阜県高山市の御母衣ダム湖岸に咲き誇る樹齢約450年の桜です。その威光にあやかり、街道沿いに“みらいの荘川桜”を植樹する活動を展開しています。
- 7年前より岐阜県白川村と富山県南砺市とで交互に毎年10本ずつ植樹を実施しています。



【ルート概要】 いやし・もてなし神山街道

■地域のわらい

テーマ：神山枝垂れ桜・神山桜を植栽し、
活力と夢ある神山町を次世代に引き継ぐ
・神山町は、町総面積の83%が山林となっており、古い寺、滝などの歴史、自然に富む町です。四季折々に地域資源を生かしたイベントが開催され、特に桜や梅が先誇る春には、数多くのイベントが開催され、大自然の中でアウトドアを満喫することができます。

■活動エリアと地域資源

～活動エリア～
・神山町は徳島県のほぼ中央に位置し、徳島市にも隣接しており、町の中央を流れる鮎喰川、その兩岸を県道20号、21号、さらに南北に国道193号、東西に国道438号を有する神山町全域をエリアとするルートです。

～地域資源～
・神山町全域をエリアとする当ルートには、大半を占める森林を生かした森林公園を初め、町内を走る道路沿いに春には桜が咲き誇り、しだれ桜はその代表です。家族でアウトドアを体験出来るキャンプ場や温泉、リゾート施設も豊富です。さらには四国の遍路道の中でも最も珍しい難所「へんろころがし」があり、歴史を感じさせる寺も数カ所あります。その他にも落差を有する壮大な滝等もあり、絶景です。

■地域の活動推進体制

「いやし・もてなし神山街道会議(活動団体13団体)」

■地域資源、活動内容

●道路沿いに植樹した桜



5. さくら街道

●歴史を感じさせる桜



10. 明王寺のしだれ桜

●森林を生かした公園



1. 神山森林公園



●台道美化活動



●四国遍路



●壮大な滝



15. 神通滝

8. 大久保の聖いちょうまつり
9. 12巻礼所焼山寺 焼山寺のこもり法要
10. 明王寺のしだれ桜まつり
11. 雨乞の湯
12. 慈観寺
13. 船場山あめごまつり
14. もり湯物産
15. 神通滝
16. 剣山スーパー林道の紅葉

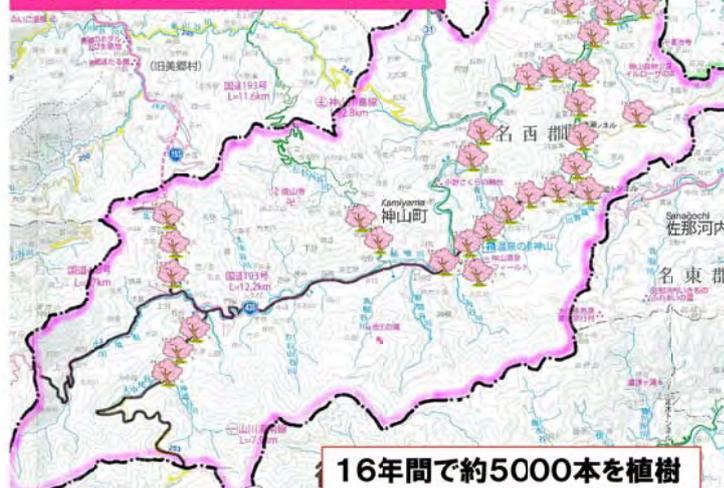


9. 焼山寺

【木・花を植える目標】

- 「神山枝垂れさくらと日本一美しいまちづくり」の取組として神山町全地域に神山枝垂れ桜・神山桜を植栽して神山町の環境整備を図り、県内外からの観光客を受け入れ、観光・産業等の振興に努め、活力と夢ある神山町を次世代に引き継ぐことを目的に、町内走る国道、県道の四路線をさくら街道と名付け、「神山さくら街道」が100年後、200年後の自然遺産となるよう植樹。

神山枝垂れさくら街道



16年間で約5000本を植樹



国道438号線法面 約18年生



県道21号線法面 約8年生

【木・花を植える活動状況】

- プロジェクトを推進するために平成14年「神山さくら会」を結成し、その後、「NPO法人神山さくら会」を設立し、他団体とともに「いやし・もてなし神山街道」とし、活動中。
- 神山町の助成を受け、「神山枝垂れさくら街道」を日々管理、拡大に努めている。その他、観光マップ、さくら風景写真などの共同制作。
- さくら公開行事、育苗の実習、俳句大会、さくら峠茶屋などに継続して取り組みことで植樹の参加者を拡充していく。

■活動推進体制



■さくら峠茶屋の見所案内所



・さくら峠茶屋で「さくら見所マップ」などで神山さくら街道の説明、観光案内

■さくら俳句大会と句標



町内で開催する俳句大会で、愛好家に「さくら」を詠んで頂き、選ばれた句を句標に残して来訪者の「いやし」の場所となっている
・「さくら俳句碑」101本、16ヶ所に設置した

【木・花の写真】

○遍路道沿いに植樹し、春先の遍路の目を和ませる箇所への植樹



国道438号（神頼再伴夫 約20年生）

○見晴らしがよくドライバーの目を楽しむ箇所への植樹



国道438号（鬼籠野阿保坂 約18年生）

○夏、他の植物との彩り等で調和を目指した箇所への植樹



国道438号（鬼籠野中分）
ルイネアが桜の新緑に色を添える

【ルート概要】 日南海岸きらめきライン

■地域のねらい

- ・花と笑顔のあふれる「うつくし」の道空間の創造
- ・人々の暖かさと地域資源で生み出す「もてなし」とスローで居心地のよい「いやし」の道空間の創造
- ・語り部が風土をつむぐ「歴史・神話」の道空間の創造

■活動エリアと地域資源

- ・日南海岸地域の国道220号、222号、448号などを中心とする地域。
- ・日南海岸国定公園・都井岬・鞆戸神宮をはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。
- ・道路・青島海岸等の清掃、道路等への花植、青島地域観光マップ・飫肥城下町散策マップの作成を実施。

■地域の活動推進体制

「日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会」
「日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会」

【構成】

- 民間：鞆戸山をかつしやる協議会 等
（活動団体 計45団体）
行政：宮崎県、宮崎市、日南市、串間市、
宮崎河川国道事務所
大学：宮崎大学

■地域資源、活動内容



①堀切峠



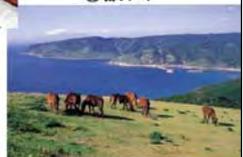
②いるか岬



③鞆戸神宮



④都井岬



【活動の様子】



道路の清掃活動



しゃべり場



花木等の植樹

【木・花を植える目標】

- ルートの3大テーマの1つである「うつくしの道づくり」は、沿道やまちを花・みどりで彩り、おもてなしすることを目標としている。
- 「住んでよし、訪れてよしの魅力ある日南海岸地区」を目指し、継続して植栽活動を実施することで、各地域の沿道修景活動に繋がることを期待。



【実施時期】：毎年3月

【活動範囲】：活動エリア全域（宮崎市、日南市、串間市）

【植栽品種】：ジャカランダ、ブーゲンビリア、カンナ、ペチュニア、ゼラニウム 等多種

【植栽数】：約20,000本



【木・花を植える活動状況】

○ルートの活動エリア内において毎年実施。

○活動資金の有無に影響されない自立した活動を目指し、活動する団体等が花の苗の生産から携わる仕組みとして「花の苗供給システム」を実施。宮崎市を拠点として開始し、現在は、日南市、日南市（旧南郷町）、串間市に展開。

【参加団体】

宮崎市

- ・みやざきフラワーロードネットワーク
- ・青島地区花のまちづくり推進協議会
- ・一般財団法人 みやざき公園協会
- ・市民
- ・宮崎市景観課・観光課 他

日南市

- ・「道の駅」なんごう
- ・NPO法人ハートフルなんごう
- ・市民
- ・日南市南郷町総合支所 他

串間市

- ・串間のみちを考える女性の会
- ・都井岬振興会
- ・市民
- ・串間市 他



花の苗供給システム



植栽活動の様子

【木・花の写真】

『観光客のおもてなし』



宮崎の陸・海・空の玄関口を花で彩って、観光客をお出迎え

『南国宮崎の象徴 フェニックス』



国道220号からの風景(日南海岸国定公園)
日向灘・鬼の洗濯岩・フェニックス(カナリーヤシ)のコラボ

【ルート概要】 やんばる風景花街道ルート

■地域のねらい

テーマ：「沖縄の花と美」が体感できる
新しい観光街道(みち)の創出

やんばる(沖縄本島北部地域)の豊かな自然資源や地域固有の歴史・文化等の魅力に磨きをかけ、観光振興や地域活性化を図る。

■活動エリアと地域資源

～風景街道の範囲～
名護市、大宜味村、東村、国頭村
(国道58号、国道331号、県道70号線 等)

～地域資源～
景観資源:エメラルドグリーンの海、亜熱帯の花々 等
自然資源:貴重動植物の宝庫やんばるの森、
ウミガメが産卵するビーチ 等
歴史資源:宇佐浜遺跡 等
文化資源:塩屋湾のウンガミ、喜如嘉の芭蕉布 等
施設・情報資源:道の駅、わんさか大浦パーク、
東村立山と水の生活博物館 等
体験・交流資源:東村民の森つじエコパーク 等

■地域の活動推進体制

～パートナーシップメンバー～
NPO法人:6団体
地域団体等:7団体
関係行政機関:5団体
交通管理者:1機関
道路管理者:2機関

■地域資源、活動内容



自然・歴史・文化資源を活用したガイドツアー

沿道を彩る亜熱帯の花々(デイゴ・ブーゲンビリア)



自転車イベントの開催

風景街道登録ルート (やんばる風景花街道)



美化活動

【木・花を植える目標】

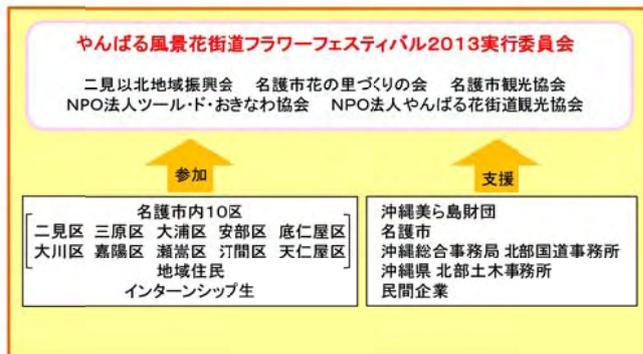
- 風景街道ルートのある「沖縄県名護市」は、1月の名護桜まつりをスタートに花いっぱい運動の輪を上げ、「フラワーシティーなご」の実現化を目指し、花の里づくりを推進中(市内55区:年間約20万本の花を植付け ※コスモス・ひまわり・インパチェンス 等)
- 今後、沖縄北部全域へ花植え活動を展開、「沖縄の花と美」が体感できる新しい観光街道を創出することで、観光振興と地域活性化を期待



【木・花を植える活動状況】

○花いっぱい運動を推進するため、「地域住民」や「やんばるの花と美の風景街道パートナーシップメンバー」等との連携による花植え活動及びイベントの実施

イベント活動(フラワーフェスティバル)での連携



【地域住民による花植え活動】



【団体との連携】
～沖縄美ら島財団による花の造形花壇～

順次拡大

【木・花の写真】

○観光拠点施設で来客者を迎えるコスモス

やんばる風景花街道 一般国道331号 わんさか大浦パーク(名護市大浦)



○道路沿いの花壇で咲くひまわり

やんばる風景花街道 一般国道331号(名護市天仁屋)



○道路の三角花壇で咲き誇る花々



琉球歴史ロマン街道『宿道』県道110号線(名護市屋我)